

令和2年度第1回小牧市立図書館協議会会議録

**日 時** 令和2年7月28日(火)  
午前10時00分～午前11時15分

**場 所** 小牧市役所東庁舎4階本会議用控室

**出席委員** 12名

唐松 健夫	舟橋 尚女
伊藤 純子	坂廻辺 範子
林 義人	麻生 文子
酒向 道夫	近藤 江里子
富川 茂男	中村 豊子
坂東 益子	舟橋 精一

**欠席委員** 中島 美幸

**事務局**

中川 宣芳	教育長
伊藤 武志	教育部長
山田 久	図書館長
花里 千賀子	図書館図書係長
近藤 義明	図書館主事
今崎 健人	図書館主事

**傍聴者** なし

(内容)

## 1 開会

### 【今崎主事】

それでは定刻となりましたので、ただいまより、令和2年度第1回小牧市立図書館協議会を開催させていただきます。本日、中島委員が欠席されております。出席委員は12名で、本日の会議は成立しておりますことをご報告いたします。傍聴者はありません。

会の開催にあたり、中川教育長よりご挨拶申し上げます。

### 【中川教育長】

皆さんこんにちは、教育長の中川と申します。日頃より図書館の事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。令和2年度第1回小牧市立図書館協議会の開催にあたりまして、ご挨拶を申し上げます。

この7月から2年間、新たな任期となりますので、今回から委員をお願いさせていただいた皆様には、今後よろしくお願ひ申し上げます。

さて、新図書館の建設状況につきましては、現在、屋上までの鉄骨建て方が完了し、順次各階の床や壁といった躯体工事、外装工事を進めているところであります。7月からは内装工事を重点的に進めており、9月頃からは外構工事に取り掛かってまいります。このまま順調に進めば、計画通り今年の12月末に建設工事が完了し、図書の搬入などの引っ越し作業や開館準備を経て、令和3年3月末に開館ができる予定です。

一方、図書館の運営面におきましては、新図書館の開館を契機として、市民サービスのさらなる充実と向上を図るため、この度、小牧市図書館サービス計画(案)を作成しました。こちらは本日の議題にもなっておりますので、委員の皆様のご意見を頂戴し、今後策定に向けて事務を進めてまいりたいと考えております。

本日は忌憚のないご意見をいただき、今後の図書館事業に生かしてまいりたいと考えております。簡単ですが開会にあたりまして、ご挨拶とさせていただきます。

### 【今崎主事】

続きまして、次第の2 議事に入ります。はじめに議事の(1)正副会長の選出について、山田館長よりご説明申し上げます。

## 2 議事

### 【山田館長】

館長の山田と申します。議事の（１）正副会長の選出について私からご説明いたします。

図書館協議会の正副会長の選出にあたっては、図書館協議会条例第４条第１項に「協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によってこれを定める。」と規定されています。これにもとづき、これから委員の皆様の中から会長及び副会長を選出していただきたいと思えます。

どなたか立候補、ご推薦などございますか。

### 【酒向委員】

僭越ですが、私からご提案申し上げます。会長には、前回から会長をつとめられ、図書館事情にも精通していらっしゃる唐松委員にお願いしてはどうかと思います。また、副会長には、今後学校との連携も重要な課題となってきますので、元教員であり、前回副会長をつとめられた舟橋尚女委員がよろしいかと思いますが、いかがでしょうか。

### 【山田館長】

今、酒向委員から会長に唐松委員、副会長に舟橋尚女委員を、とのご提案をいただきました。ほかにご提案はございますか。

（提案なし）

ないようですので、会長に唐松委員、副会長に舟橋尚女委員というご提案について、賛否をとりたいと思えます。

ご賛同いただける方は、拍手をお願いします。

（委員拍手）

ありがとうございます。ご賛同いただけましたので、唐松委員、舟橋尚女委員にはご承諾をいただきたいと思えますが、いかがでしょうか。

（両委員承諾）

ご承諾ありがとうございます。会長は唐松委員、副会長は舟橋尚女委員に決定いたしました。

次の議事に入ります前に、唐松会長よりご挨拶をいただきたいと思えます。

### 【唐松会長】

前回に引き続き、会長を務めさせていただきます唐松と申します。よろしくお願いいたします。

先ほど中川教育長からのお話にもありましたが、新図書館のハード面におきましては、今年中に建物が完成予定でございます。個人的にはやや気になる部分もあるのですが、建設は着実に進んでおり、来年3月にはオープンすることになっています。

本日ご審議いただくのは、運営に関する部分、いわゆるソフト面でございます。いかに新しい図書館が市民に親しまれ、あってよかったと思っただけかということが大切ですが、そういった意味でも本日の議題は非常に重要であります。

本日はご審議の程、よろしくお願いいたします。

### 【今崎主事】

ありがとうございました。それでは議事の続きに移らせていただきます。ここからの会議の進行は、唐松会長にお願いしたいと思います。

### 【唐松会長】

それでは、議事の（2）について、事務局より説明をいただきます。

### 【花里係長】

それでは議事の（2）小牧市図書館サービス計画についてご説明いたします。資料2、小牧市図書館サービス計画（案）の3ページをご覧ください。

1 小牧市図書館サービス計画についての（1）策定の背景について、本市が策定しております小牧市まちづくり推進計画と小牧市教育振興基本計画に基づき、図書館資料の充実とともに、地域の課題解決や、調査・研究の支援、レファレンスサービス、展示、企画コーナーの充実など、図書館サービスのさらなる充実と向上を図るため、公民館図書室も含めた小牧市図書館サービス計画を策定するものでございます。

次に、（2）サービス計画の位置づけでございますが、本サービス計画は4つの図書館サービスを支える体制の方針と、具体的なサービスの取組項目とその内容及び実施時期を示した狭義でのサービス計画から構成します。

また、本サービス計画に基づき、毎年事業計画を策定し、各事業を推進することとしております。お手元の資料3が令和2年度の事業計画でございます。図書館サービスの推進体制につきましては、4ページに示してありますので、

ご覧ください。

次に、**(3) 計画期間**につきましては、令和2年度から令和6年度までの5か年計画としております。

続きまして、5ページをご覧ください。このページから9ページまでを、**2 小牧市の図書館運営の現状と課題**としまして、過去10年間の蔵書冊数、利用者数、貸出冊数の推移がわかるようにグラフ化しました。9ページの**(3) 本市の図書館運営の課題**としましては、貸出冊数、利用者数が減少傾向にあることから、図書館資料の充実とともに、Wi-Fi環境の整備、タブレット端末や電子書籍の貸出など、新しい図書館サービスの充実を図ってまいります。

10ページをご覧ください。**3 図書館サービスを支える体制の方針**としまして、図書館サービスを支える職員、資料、施設、広報に関する方針を定めたものであります。

従来から取り組んできたものもございしますが、11ページにありますICT化の推進や滞在型図書館への転換など、小牧市中央図書館の開館を契機に、より一層、積極的に取り組んでまいります。

続きまして、13ページをご覧ください。**4 サービス計画**でございしますが、こちらは小牧市の図書館の現状と課題を踏まえ、具体的な取組項目と実施時期を記載したのですが、後ほど詳しくご説明いたします。

21ページをご覧ください。**5 計画推進にあたっての(1) 事業計画の策定**でございしますが、本サービス計画の推進を図るため、毎年度事業計画を策定し、公表することとしております。また、**(2) 点検・評価等**でございしますが、計画に基づいた運営がなされているかの確認と、運営水準の向上のため、事業計画の達成状況等の点検及び評価を行うこととしております。点検及び評価については、まず図書館職員が自己評価を行い、その後、小牧市立図書館協議会による第三者評価を行います。この評価結果及び市民アンケートに基づき、運営の改善に必要な措置を講じてまいります。

22ページの**(3) 評価指標**につきましては、小牧市まちづくり推進計画に掲げられた指標としております。

23ページ以降につきましては、本サービス計画の策定にあたって参考とした資料について、記載をしております。

ここまでの、本サービス計画の全体的な概要となります。

13ページにお戻りください。**4 サービス計画**でございしますが、新たな取り組みや拡充するサービスを中心に説明させていただきます。

**(1) 市民を支援するための図書館のA 開館時間の拡大**をご覧ください。中央図書館の開館時間については、小牧駅前に立地することなどを考慮し、現在の開館時間から、前後30分ずつ拡大して午前9時から午後9時までといたし

ます。

続きまして、**イ 貸出・返却サービス**をご覧ください。利用登録要件の拡大については、より多くの方に利用していただけるよう、利用者登録要件を全国の方に拡大するものです。

新図書館の開館に合わせて、I Cタグによる蔵書管理、貸出・返却の自動化、マイナンバーカードやスマホ貸出券の導入、電子書籍の貸出などを、新規サービスとして挙げております。

電子図書館の構築でございますが、こちらはWEB上で図書館の所蔵する電子書籍を借りることができるサービスで、来館が困難な方などに有効であると考えております。

続きまして、14ページの**エ レファレンスサービス**をご覧ください。利用者からの様々な資料要求に対応できる職員を育成するとともに、中央図書館にはレファレンス対応カウンターを設置します。

また、国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスや、各種データベース閲覧サービスの拡充により、質の高い情報提供に努めてまいります。

15ページの**カ 郷土資料の収集・閲覧サービス**をご覧ください。図書館では、貴重資料や広く閲覧していただきたい郷土資料等のデジタル化を進めており、中央図書館の開館に合わせて、デジタル化した資料をWEB上や館内のデジタルサイネージで公開していくことを予定しております。

次に、**キ 障がい者サービス**でございますが、中央図書館では新たに読書バリアフリーコーナーを設置し、点字図書やLLブックなど、様々な障がいをお持ちの方に有効な資料を収集し、展示します。また、新たな取り組みとして、ご自分で本を読むことが困難な方に対して、ボランティアの方が代わりに声に出して本を読む対面読書サービスを実施します。

その他のサービスとしまして、中央図書館では、新たに雑誌スポンサーという制度を導入いたします。これは、民間事業者が中央図書館に配架する雑誌を図書館に提供することで、提供した雑誌の最新号カバーに、企業公告等を掲載することができる制度です。

17ページ、18ページの**(2) 子どもの読書活動を推進する図書館**につきまして、配本サービスや図書館見学の受入を拡充するなど、引き続き、子ども読書活動の推進に努めてまいります。

19ページをご覧ください。**(3) 市民の様々な活動を支援する図書館の多様な学習機会の提供**でございますが、中央図書館では静かに読書や学習をしたい方に向けて、サイレントルームや個人ブースを整備しますが、席の取り合いなどの混乱を避けるため、インターネットからも予約ができる座席システムを導入してまいります。

次に、**イ ボランティア活動等の促進**をご覧ください。中央図書館に、市民活動センターの情報コーナーを設置いたします。こちらには市民活動団体やボランティア団体が発行する機関紙やチラシ等の資料や情報を収集し、設置します。

これにより、市民のボランティア活動に対する理解を促し、より多くの市民が活動に参加できるよう支援します。

最後に、20ページ、**(4) 何度も訪れたいくなる付加価値のある図書館**でございます。

中央図書館は、滞在型図書館への転換を目指していることから、市民からの要望の高かったカフェスペースを設け、Wi-Fi環境の整備、タブレット端末やCD/DVD視聴ポータブル機の貸出サービスを開始し、駅前という立地を考慮して、気軽に読める雑誌や旅行書を1階エントランス部に用意し、午前9時の通常開館時間の、1時間前の午前8時から閲覧できるようにしてまいります。

以上が議事(2)小牧市図書館サービス計画の説明でございます。

#### **【唐松会長】**

ありがとうございました。

ただいまの事務局からの説明に対して、ご意見・ご質問等ありましたらご発言をお願いします。

#### **【中村委員】**

3点質問です。1点目ですが、サイレントルームの座席の数を教えてください。

2点目ですが、カフェ以外にも民間の事業者が入って飲み物の販売等行う予定はありますか。

3点目ですが、12ページの市民のアンケートは、どのように実施していますか。無作為に抽出した対象者に実施するものですか。

#### **【山田館長】**

サイレントルームの席数ですが、2階に16席、3階に80席、4階に15席でございます。

カフェ以外に民間業者が入る予定はありませんが、2階に自販機を設置する予定がございます。

アンケートに関しましては、来館者を対象に、ここ数年継続して実施しております。

### 【唐松会長】

図書館がなんでもやるという印象を持ちました。全部をやろうとすると開発費や維持費が大きくなると思います。返事はいりませんが意見として申し上げます。

中央館は充実していますが、図書室について機能を充実させる必要があると思います。

また、市民の生活のためのレファレンスを職員ができるのかという点が気になりました。データベースは15万人規模の市町村の図書館で必要でしょうか。

なんでもできるということはいいですが、市民のニーズと合致しているかが気になります。

### 【山田館長】

いただいたご意見に対してお話したいと思います。たしかにここに盛り込まれているサービスは膨大です。しかし、社会的な図書館の水準に合わせたいという意図がございます。

分館についてですが、施設の改修等ハード面での計画が全くない状況ですので、拡充できる機能は限られます。ICタグによる図書の管理等できることもありますが、施設の改善については今後の検討事項としたいと考えております。

データベースについては導入している館についてもそれほど利用が伸びないという話を聞くこともありますが、使っていただくためにどうしていくかを検討していきたいと考えています。レファレンスサービスの際にもご紹介していくつもりです。

職員がやれるのかというご意見もありますが、新図書館では職員もカウンターに出て市民の声を聴いていきたいと考えています。

### 【富川委員】

P D C Aについて意見を申し上げます。計画を見ますと、毎年やっていくように見えますが、目標値がないように伺えます。目標値がなければ、どの事業が良くて、どの事業が悪いのかが見えず、どの事業に重点的に取り組むかといった戦略も立てられません。最終の目標値や年度の目標値が検討されていれば、P D C Aを回す際に非常に楽になると思います。

### 【伊藤教育部長】

いまいただいた意見はその通りだと思います。

行政はP D C Aサイクルで回すものですが、このサービス計画の各項目については、目標値を設定しづらい内容も多々あります。これからサービスを継続



する中で、目標設定についてどのような指標を用いて、どの程度の目標値を設定すべきか、今後しっかり検討していきたいと思います。

#### 【坂廻辺委員】

この資料を見て、図書館は大変便利になるなという印象を受けました。オープン直後は楽しみにしている人たちでごった返すと思いますが、新しい便利なものについてゆけず、置き去りになる人がでないように工夫していただきたい。世の中と逆行することになるとは思いますが、一つの要望としてお聞きいただきたいと思います。

#### 【唐松会長】

ある文化財保護委員の方が、「新しく公共施設を作っても、賑わって2、3年だ」と、会議の度におっしゃっていました。坂廻辺委員の話に留意していただき、皆が使いやすいよう工夫していただきたいと思います。

#### 【山田館長】

市民の方々の力も必要だと思っています。積極的に使っていただくための工夫や努力はしていきたいと考えています。

#### 【舟橋（精）委員】

ボランティアの方々や図書館を支える人たちを育て、維持する取組はどういったものがあるのでしょうか。

#### 【山田館長】

基本設計の際に、設計者の方が市民の方々の力が必要だということを書いてみえました。皆が持ち寄った本を図書館の一定の場所に並べ、だれでも自由に持って行っていただけるようなコーナーを、ボランティア組織が管理するという話もあり、アイデアとしては面白いと思いましたが、そういったボランティアを組織することは難しく、現段階では実現できておりません。

現在、えほん図書館も含めると図書館には100名近くのボランティアの方がいらっしゃいますが、新たに参加する人がどんどん増え、広がっていかねばいけないと思っています。ボランティアの方とともに、これから先何十年と維持していけるような図書館にしていかなければと思っています。

#### 【唐松会長】

小牧市の図書館にこれまで10数年関わってきましたが、かつて新小牧市立

図書館建設審議会の委員を務められた方々に対して、ハード面でもソフト面でも、胸を張ってこういう図書館を作ったのだと言えるようにしていただきたい。

### 【山田館長】

新図書館の建設にあたっては、10年以上、紆余曲折がございました。酒向委員におかれましても長きにわたってご協力をいただいておりますが、何か思うことなどございましたらご発言をお願いします。

### 【酒向委員】

自分が生きているうちにできるだろうかと思っていました。とにかく図書館というものを自分の書斎のように、誇りを持って皆が利用し、だれからも親しまれるものになってほしいと思います。コロナ対策もいいのかなど考えながら資料を見させていただきました。図書館の意気込みや努力が感じられ、私は前向きに捉えております。

ただ、部分的に言いますと、小牧は東部、味岡、北里に図書室があり、高齢化が進むと中央だけではいけませんので、バランスをとりながら進めていただきたい。計画が途中で変更になってもいいと思います。常に状況判断をしつつ、多少の計画変更があっても、とにかく前に進めてほしいなという思いです。

### 【山田館長】

この計画は盛りだくさんで、全部をすぐにはできませんが、15ページの障がい者サービスは、昨年法律が新たに施行され、視覚障がい者等の読書サービスを充実させる必要があります。この障がい者サービスの部分だけでも具体化して進めていければ、これまで図書館に足が向かなかった方に対しても前向きな姿勢を示せると思います。

### 【唐松会長】

小牧市は、愛知県内の分館がある図書館の中で一番であると認識しています。例えば一宮市は合併したために分館がありますが、小牧市は合併によってではなく、自ら分館を建てました。これを大事にして、分館の充実にも取り組んでいただきたい。

### 【舟橋（精）委員】

この50年で図書館ではいろいろと変遷がありました。分館もできて、以前はあおぞら号のサービスもあって、地域への図書館サービスとして、小牧は誇れることもあると思います。実際、分館の利用者も本館と変わらないくらいあ

るのでございます。

質問ですが、6ページ(2)利用状況の利用者数としては本を借りた人の延べ人数ですので、実際何人の人が利用したのかがわかりません。同じ人が何度も借りているということもあると思います。また、入館しただけで本を借りていられなかった人もいると思いますが、そのような方についても人数をカウントできているのでしょうか。

#### 【山田館長】

利用者の延べ人数ではなく、実際の人数についてお尋ねですが、一定期間中に1度でも本を借りられた方の数をカウントしておりますので、そちらで把握できます。令和元年度は、17,877人でございます。資料にあります利用者数180,490人という数字は、この方々が延べで利用された回数ということになります。

また、図書館に来館されたただけの方の数についてお尋ねですが、正確には把握できておりません。推定ですが、利用者数の3倍程度ではないかと考えております。

新図書館につきましては来館者をカウントする設備を備えております。

#### 【唐松会長】

8時にカフェがオープンするとなると、朝の利用の方が増えるのではないのでしょうか。

#### 【山田館長】

そのように思います。

#### 【舟橋(尚)委員】

計画を見まして、新図書館運営に対する職員の方々の意気込みが伝わってきました。小牧市民の皆さんがうらやましいと思います。利用要件の拡大で市外在住の私たちも利用できるようになりそうです。オープン当初は当然市民の方も誇りに思われることでしょう。「おらが街の図書館」という気持ちを市民の皆さんが持ち続けていくことができれば、他の市町村からも目標とされる図書館になっていくと思います。そのような気持ちを持ってもらえる図書館運営が大切だと思います。

唐松会長のおっしゃられるように、維持費のことなど大変なこともありますが、新図書館オープンに向けての職員の方々の熱い思いを感じる計画案で感心しました。

### 【唐松会長】

これだけのサービス内容をいかに市民の人たちに知ってもらえるか、それが大事です。すべてのサービスについて紹介しようと思ったら冊子ができてしまうぐらいの量だと思います。中身を広く市民に知ってもらえるよう、PR・広報等工夫してください。

### 【唐松会長】

その他意見のある方はおられますか。

(意見なし)

それでは、議事がすべて終了しましたので、進行を事務局にお返しいたします。

## 3 その他連絡事項

### 【今崎主事】

活発なご審議ありがとうございました。続きまして、次第の3、その他連絡事項に入ります。

連絡が1点ございます。

(資料配布)

ただいま令和2年度図書館年報（令和元年度実績）を配布させていただきました。こちらは令和元年度における図書館の利用者統計、蔵書統計をはじめとする各種統計データや、実施事業の内容等を記載しております。本来内容についてご説明をすべきところではございますが、お時間の都合上、配布のみとさせていただきます。連絡は以上です。

これをもちまして、令和2年度第1回小牧市立図書館協議会を閉会いたします。ありがとうございました。